

春日山神社



深秋



雲の如く



晩秋



秋彩

今月のはじめ紅葉が盛りという春日山神社へ行ってきました。聞いた通り真っ赤なみごとな紅葉でした。

そこで春日山神社のことをネットで調べてみました。山形県米沢市の上杉神社より分霊され謙信公を祭神に祀った神社で、明治34年(一九〇一年)に童話作家小川未明(正式にはびめい)の父で小川澄晴氏によって創建されたそうです。日本近代郵便の父前島密も援助したと言われています。境内には未明の詩「雲の如く高くくものごとくかがやき雲のごとくとらわれず」の石碑を見ることができます。



老母屋敷跡



お館様



謙信公も見た頸城平



越後の龍

写真連盟 12月の活動
1日：直江津写真フェア 2日目

神社が建つこの場所は、謙信公の母君「虎御前」の老母(ろうぼ)屋敷の跡地で謙信公もここで生まれたそうです。「虫の音に 名将偲ぶ 春日山」の句碑もありました。以前米沢の人に「上越の人は謙信公を大事にしていませんね」と言われたという方の話を聞いたことがあります。とても残念で、くやししく恥ずかしいことです。多くの英傑を生んだこの地をもっと見直す必要があると思っています。

来年がよい年でありますように、たくさんの実のついた「南天」をお届けします。一年間お疲れ様でした。よい年になりますように。

(写真・文KM)



南天は難転